



顔

花道の灯はつとともなり一斉に灯にふりむき—あかきその顔  
 花道の—どろに見入る千の顔の一つ一つを見むとあせりも  
 同じやうにこちうむきたる顔の中に一つの顔をもとむる心  
 或一つの顔見出でむとあせり思へど舞台をさかるとも—光  
 舞台のあかりをうけてほの白くむらくと顔のむらがりつげし  
 舞台にちつと見入れる千の顔動かす言はず生けりと思へど  
 舞台の灯はほのめけり連なれる顔の中の一つ光れる顔ありし  
 舞台に灯はあつまりて帯も衣も消え—づみつ、顔のみ白きし  
 拍手の音みなぎる中に数多の顔動かむる—いまだ動かすし  
 純懐は下りぬありとある顔生々とこぼれと動けり赤き灯の下し  
 幕中合はひそみか—わり前世紀の遺物の如き顔をここに

石橋 4 亦